



戀川春所作  
歌川國安画

行  
遠  
2378  
271

戯言の分あつと種々々見る物きくめ不化の著述出せぬ方  
たれぬ形く澤の乃不すじ蛙とていりりめいれれれとてさざらあ  
通の女郎花にらうおく美室と鏡山の姥様不道とてめ在  
中の女村あはあをく五文字とて死康秀の秋の事さあ  
る喜撰の世をじやまの言の語あてとて小町の月と澤の  
ああかひるえと澤のあひ死めぬのふもわだたえのあ  
おのふふるあ望の望もうちてえとありあうの終の  
世のあふんととてとていふ屋いられらるる草紙の  
あはれ草紙の歌の抄もて墨物のこころをん羅万象一切の心  
あはれ編成はして序の程のひびきさふ不をん

東都備忘の  
戯作者  
五柳亭述



川柳集

川柳











あつてこのおやぢのや  
女房をなうますこれ  
さてもあなをいことかのみ  
ふつてうのちニヤモワ  
ひまのよのあつてあつて  
こころがむろつてあつて  
かんがふことこころあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて



あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつて









仙臺集 卷之九

まろくはる宛に書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十  
番のくへに書きたるは二十



。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり  
。おのれのくまのり



猫のふし

ねこは、昔も今も、ちやうど「おれは、おれ」の如きものなり。其の性、  
 一、静かに居る事、二、其の身を洗ふ事、三、其の身を拭く事、四、其の身を  
 舐む事、五、其の身を震らす事、六、其の身を揺らす事、七、其の身を  
 揺らす事、八、其の身を揺らす事、九、其の身を揺らす事、十、其の身を  
 揺らす事、十一、其の身を揺らす事、十二、其の身を揺らす事、十三、其の身を  
 揺らす事、十四、其の身を揺らす事、十五、其の身を揺らす事、十六、其の身を  
 揺らす事、十七、其の身を揺らす事、十八、其の身を揺らす事、十九、其の身を  
 揺らす事、二十、其の身を揺らす事、二十一、其の身を揺らす事、二十二、其の身を  
 揺らす事、二十三、其の身を揺らす事、二十四、其の身を揺らす事、二十五、其の身を  
 揺らす事、二十六、其の身を揺らす事、二十七、其の身を揺らす事、二十八、其の身を  
 揺らす事、二十九、其の身を揺らす事、三十、其の身を揺らす事、三十一、其の身を  
 揺らす事、三十二、其の身を揺らす事、三十三、其の身を揺らす事、三十四、其の身を  
 揺らす事、三十五、其の身を揺らす事、三十六、其の身を揺らす事、三十七、其の身を  
 揺らす事、三十八、其の身を揺らす事、三十九、其の身を揺らす事、四十、其の身を  
 揺らす事、四十一、其の身を揺らす事、四十二、其の身を揺らす事、四十三、其の身を  
 揺らす事、四十四、其の身を揺らす事、四十五、其の身を揺らす事、四十六、其の身を  
 揺らす事、四十七、其の身を揺らす事、四十八、其の身を揺らす事、四十九、其の身を  
 揺らす事、五十、其の身を揺らす事、五十一、其の身を揺らす事、五十二、其の身を  
 揺らす事、五十三、其の身を揺らす事、五十四、其の身を揺らす事、五十五、其の身を  
 揺らす事、五十六、其の身を揺らす事、五十七、其の身を揺らす事、五十八、其の身を  
 揺らす事、五十九、其の身を揺らす事、六十、其の身を揺らす事、六十一、其の身を  
 揺らす事、六十二、其の身を揺らす事、六十三、其の身を揺らす事、六十四、其の身を  
 揺らす事、六十五、其の身を揺らす事、六十六、其の身を揺らす事、六十七、其の身を  
 揺らす事、六十八、其の身を揺らす事、六十九、其の身を揺らす事、七十、其の身を  
 揺らす事、七十一、其の身を揺らす事、七十二、其の身を揺らす事、七十三、其の身を  
 揺らす事、七十四、其の身を揺らす事、七十五、其の身を揺らす事、七十六、其の身を  
 揺らす事、七十七、其の身を揺らす事、七十八、其の身を揺らす事、七十九、其の身を  
 揺らす事、八十、其の身を揺らす事、八十一、其の身を揺らす事、八十二、其の身を  
 揺らす事、八十三、其の身を揺らす事、八十四、其の身を揺らす事、八十五、其の身を  
 揺らす事、八十六、其の身を揺らす事、八十七、其の身を揺らす事、八十八、其の身を  
 揺らす事、八十九、其の身を揺らす事、九十、其の身を揺らす事、九十一、其の身を  
 揺らす事、九十二、其の身を揺らす事、九十三、其の身を揺らす事、九十四、其の身を  
 揺らす事、九十五、其の身を揺らす事、九十六、其の身を揺らす事、九十七、其の身を  
 揺らす事、九十八、其の身を揺らす事、九十九、其の身を揺らす事、百、其の身を  
 揺らす事、

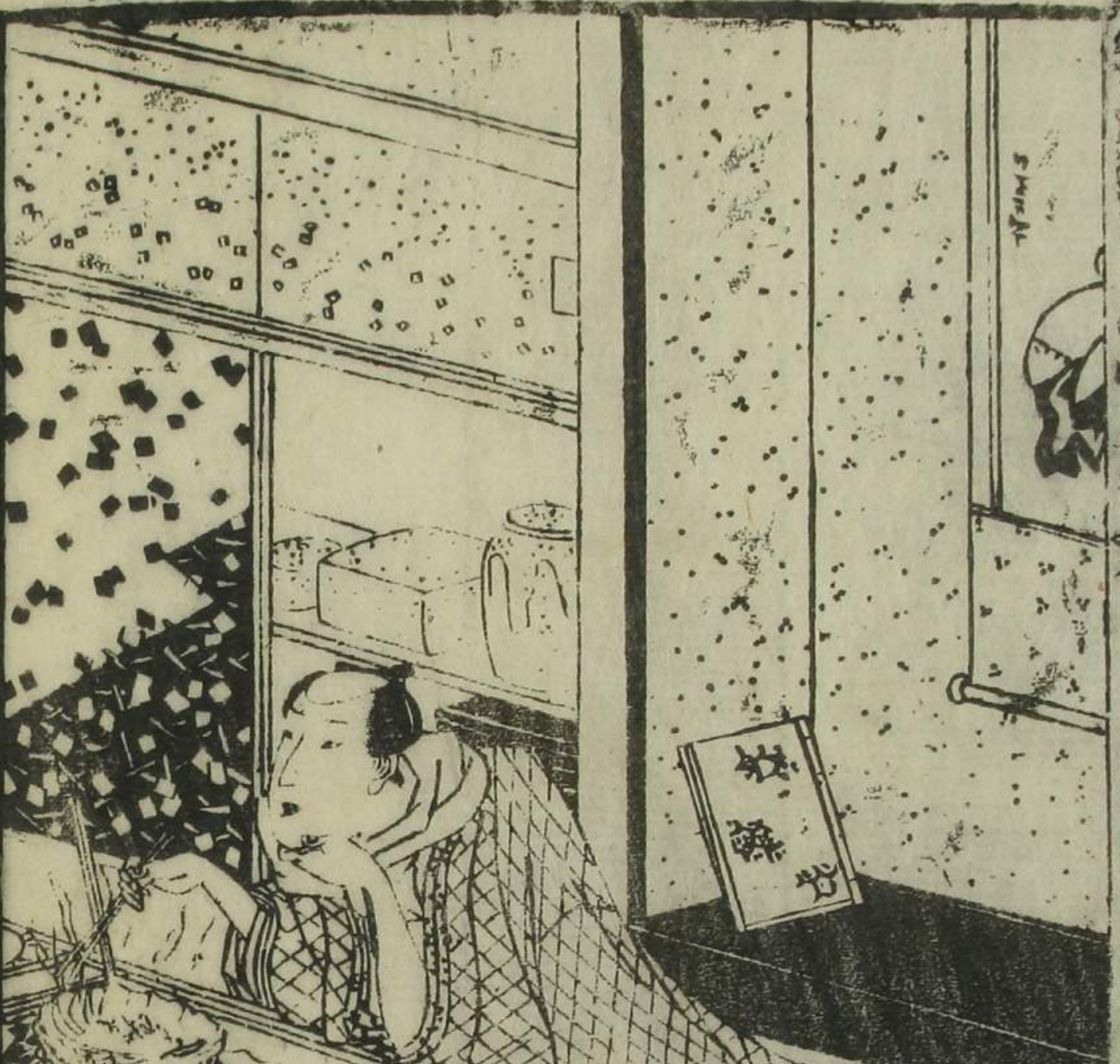


猫のふし

三つ葉のついでに...  
 あつちのついでに...  
 あつちのついでに...  
 あつちのついでに...



あつちのついでに...  
 あつちのついでに...  
 あつちのついでに...



あつちのついでに...  
 あつちのついでに...  
 あつちのついでに...







This illustration depicts a woman in elaborate traditional Japanese clothing, including a patterned kimono and a decorative obi. She stands in a garden-like setting with trees and a fence. The scene is surrounded by handwritten Japanese text, which appears to be a form of haikai or a similar poetic form. The text is arranged in vertical columns, some above and some below the main illustration.

This illustration depicts a woman in traditional Japanese clothing, lying down in a garden-like setting. She is surrounded by trees and a fence. The scene is surrounded by handwritten Japanese text, which appears to be a form of haikai or a similar poetic form. The text is arranged in vertical columns, some above and some below the main illustration.





Handwritten text in the upper left section of the left page, including a small illustration of a flowering tree.



Handwritten text in the lower left section of the left page, including a small illustration of a figure.

Vertical text on the left margin of the left page.



Handwritten text in the lower right section of the right page.

Vertical text on the right margin of the right page.



此の巻のてをさるる事...  
 月これよりあつた...  
 あつた...  
 ...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...  
 ...

國々方画 五柳亭作

此の書は、心算の要訣を述べ、  
 算の理を明かにし、  
 算の法を簡便に記し、  
 算の用を廣く示す。  
 算の理を明かにし、  
 算の法を簡便に記し、  
 算の用を廣く示す。  
 算の理を明かにし、  
 算の法を簡便に記し、  
 算の用を廣く示す。



五柳亭  
 作

